

2024 年度

第1回長野県女性審判研修会報告書



日 時: 2024 年 6 月 29 日 (土)

場 所: 松商学園高等学校体育館

1. 目的

- ・女性審判員の普及、底辺の拡大
- ・女性審判員の強化・育成
- ・県内審判員の交流、情報交換の場とする

2. 受講対象者

長野県内の女性審判員（C級以下）

3. 講師

川上沙織（JBA公認B級審判員・3級インストラクター）

関 凌郁（JBA公認B級審判員・3級インストラクター）

金澤夏未（JBA公認B級審判員・3級インストラクター）

4. 開催日

2024年6月29日（土） 9:30～12:00

5. 会場

学校法人松商学園 松商学園高等学校（〒390-8515 長野県松本市県3-6-1）

協力チーム：松商学園高校女子バスケットボール部

松本蟻ヶ崎高校女子バスケットボール部

松本国際高校女子バスケットボール部

6. 研修内容

- (1) シグナル、レポート、ファールの種類の確認
 - ・笛の吹き方・バイオレーションのシグナルについて・ファールレポート練習
- (2) 2P0の基本的な説明
 - ・トレイル、リードについて・エリアの説明
- (3) 1 on 1、3 on 3ドリル
 - ・ドライブの捉え方・3 or 2の見方
- (4) ミニゲーム（3分）

7. 参加料

1,000円（高校生以下200円）

8. 参加者

女性研修参加者：46名（11名＋高校生35名）

9. 研修の様子



10. 受講者感想 (アンケートより)

- 最後のミニゲームで今回は女子だったので笛を吹きやすかった。分解練習でやったことを意識してやることができた。また、高校生も参加させていただいたことで審判からみた自分たちをイメージできたのではないと思う。初めての生徒にも丁寧に教えていただいて、ルールに対して興味を持つことができていた。
- レポートの位置を改めて確認することが出来ました。顔の前で声を使ってはっきりとレポートすることを学ぶことが出来ました。
- 女性だけということもあり、とても楽しく受けられました。また、普段はミニバスで吹いていた為、一般ルールは初めてでかなり不安もありましたが、笛の吹き方・動き方などとても丁寧に教えていただいたので有難かったです。
- E級ライセンスを取得してから、なかなか笛を吹く機会がなかった為今回の講習会に参加させて頂きました。笛の吹き方、ジェスチャーなどを教えて頂き、また参加された方と分からない所など聞きながら練習が出来ました。特に印象に残ったのは、ミニゲームで立ち位置を講師の方についてもらいどの位置でみるのかと、レポート仕方もとても勉強になりました。
- リード、トレイルのプライマリをわかりやすく解説していただき、勉強になりました。実技でも、後ろに付いて都度説明していただいたので大変勉強になりました。これからも女性審判員に特化した研修会があればぜひ参加させていただきたいです。ありがとうございました。

<講師より>

- 今回の研修は普段プレーヤーとして活躍する方、チームでコーチをなさっている方など、様々な目線の方が集まってくださいました。初めて参加された方がほとんどでしたので、審判の基本となる内容で研修を実施しました。この研修が皆様の審判の基礎となり、今後の審判やバスケットボールへの関わりを充実させていただき

たらと思います。高校生の参加も多く積極的に研修内容を聞いていただき、ミニゲームにもたくさんの方が参加してくださいました。ぜひ今後は実戦に近い場面で審判としてコートに立つ経験もしていただきたいと感じました。短い時間の中ではありましたが参加者の皆様のご協力のおかげでスムーズに研修会を進めることができました。ご参加いただきありがとうございました。(関凌郁)

- ・高校生をはじめ、多くの方に参加していただき大変嬉しく思います。これを機に少しでも“審判”に興味をもってもらえるとうれしいです。講師の人数に対して参加人数が多く参加してくださった方には満足いく研修にならなかったのではないかと思います。参加して下さる方にとってどんな研修が良いか、またやってみたいと思えるようにするためにはどうしたらいいか今後の研修会がより良いものとなっていくように努力していきたいです。大切な仲間を増やしていくために声をかけ、審判というものを知ってもらえるようにしていけたらと思います。不手際が多い中、熱心に参加して下さりありがとうございました。(川上沙織)
- ・研修会に関わってくださった全ての皆様のご協力のおかげで、無事開催することができました。多くの方に参加していただき、県内女性審判員の普及・底辺の拡大、交流となり嬉しく思います。今回の研修で感じたことや経験したことが今後の皆様の活動に少しでも繋がっていければと思います。私自身も研修会を通して、学びを深められ、刺激をもらうことができました。研修会を運営して感じたこと、受講生の感想を今後の研修会を活かし、また参加したい、友人や知人を誘って参加したいと思っていただけるようにしていきたいです。参加いただいた皆様といつか一緒に試合を担当できることを楽しみにしております。限られた時間の中ではありましたが、ご参加いただきありがとうございました。(金澤夏未)

<研修を終えて>

この度は、第1回長野県女性審判研修会にご参加いただき、ありがとうございました。

はじめに、今回の研修会開催にあたり、予想を上回る参加人数だった為、伝えたい内容のすべてをうまく伝達できなかったこと、また、終了予定時刻を大幅にオーバーしてしまったこと等、参加者の皆様にはご迷惑をお掛け致しましたことお詫び申し上げます。しかしながら、この研修会のためにスタッフ一同、多くの時間を割き、入念に準備を重ねて当日を迎え、できることは、精一杯やらせていただきました。今回の研修会での反省を活かし、今後に繋げていきたいと考えております。

研修会では、限られた時間の中で、一つでも多くのことを習得しようと、参加者同士で声を掛け合いコールの練習をする姿や思い切って鳴らした笛に対し「ナイスジャッジ！」と声をかける姿等、審判にひたむきに取り組む姿があり、大変嬉しく思いました。参加者の方々の一生懸命・真剣に取り組む姿の中にも、仲間と楽しく審判に打ち込む姿もあり、私自身、初心に戻り、多くのことを学ばせていただきました。今回、学んだことを今後の審判活動や自己のプレーヤー活動に生かして頂ければ幸いです。

最後になりますが、会場及びモデルチームとしてご協力いただきました松商学園高等学校女子バスケットボール部、松本蟻ヶ崎高等学校女子バスケットボール部、松本国際高等学校女子バスケットボール部の皆様、並びに長野県バスケットボール審判委員会の皆様に心より感謝申し上げます。長野県女性審判員がこのように活動できるのは、皆様の支えのお陰です。感謝の気持ちを大切に、今後も精進して参ります。

長野県女性分科会担当 清水ななえ